



桜の季節…4月です
官庁では新年度の始まり、学校では入学式や新学期
会社では入社式などがあり忙しい月です
1年の中で寒暖差が大きく気温の変化に対応しようと
交感神経の働きが強く緊張状態が続きやすくなり
入学や就職などで生活リズムが大きく変わるのでストレスを多く感じます
そのため自律神経が乱れやすくなるので睡眠、ストレッチ
ウォーキングなどで身体の調整をしてあげてくださいね♪



紀三井寺



和歌山城

和歌山城では3月26日～4月7日まで桜まつりが開催され
日没から午後10時までライトアップされます
また、周辺には露店が立ち並び賑わいます

～4月掲載内容～

*組合からのお知らせ

*外国人技能実習生

*日本

*災害は忘れた頃にやってくる

*和歌山県立耐久高校 甲子園初出場

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

組合からのお知らせ

【新制度の動向】

政府は技能実習制度を廃止し、新たに「育成就労制度」創設のため関連法改正案を閣議決定し、今国会に提出しました。

技能実習制度とは、日本の技術を海外へ移転するための国際協力を目的とする制度でしたが、これを実態に即して人材育成と人材確保を目的とした制度に改めることが狙いです。

また、本人の意向による転職については、技能実習制度では原則認められていませんでしたが、新制度では一つの職場で1年を超えて働いた場合、条件付きで転職が認められることになるようです。しかし、条件付きとはいえ転職が認められることになると地方から都心部へ人材が流出することが懸念されますが、当面の間は最長2年まで転職を制限できる…とされています。

【緩和原因】

転職緩和に至ったのは賃金の未払いやパワハラ問題などの人権侵害があり、自由に転職できずに失踪してしまうケースが多かったことが理由とされています。

一方で、人材育成をしても早期に転職されたのでは育成に投資した分が無駄になるとの声もあり、受入れ側は職場の環境整備に力を入れなければいけないのも事実です。

【育成就労制度】

新制度である「育成就労制度」は3年間で一定の技術の取得が必要であり、在留資格である「特定技能」の水準にまで育成することを目的にしているため、新制度から特定技能制度に繋げてより長期的に滞在できるよう整備されます。

特定技能1号では通算5年働けることに対し、特定技能2号では永続的に在留期間の更新ができ、家族の帯同が認められます。家族と共に長期的に滞在が可能になれば、職場環境以外でも和歌山の住み心地がどうかということも、地域をあげて考えなければいけません。

外国人技能実習生

2月14日、タイから3名、ミャンマーから2名、インドネシアから16名の計21名の技能実習生が来日し、3月中旬から各受入れ先での実習がスタートしています。講習期間中は日本語教育だけでなく、日本の文化を知ってもらうためのレクリエーションを行いました。



日本の文化を学んでもらうことで、少しでも日本を好きになってもらえると嬉しいです、皆さんには日本での技能実習を楽しく元気に頑張ってもらいたいですね!!

日本

【日銀～日米の相反した政策】



3月19日、日本銀行は金融政策決定会合を開催し植田和男総裁が会見を行った結果、緩和政策の終了を宣言したことを公表しました。黒田東彦前総裁が2013年から実施してきた異次元緩和政策は形の上では終了しました。

日米では金融政策が根本的に違っており、米国は金融を引き締め自国通貨であるドルを強くし、世界から投資を呼び込もうとし、反対に日本は金利を下げ市中に資金をばら撒く、すなわち流動性を高める政策を取りました。

13年前、日本経済は少子高齢化に直面し消費マインドが極端に落ち込み、企業の投資意欲も減退していました

そこで安倍政権と黒田日銀前総裁が異次元の金融緩和を行い、景気の回復を図ってきたのです。これがカンフル剂的役割のはずでしたが期待されるような景気に回復は見られず、いつしかこれが普通だと思われるようになり現在に至っています。異次元の金融緩和は普通に見るとハイパーインフレになることが恐れられるのですが、反対にデフレ圧力と円安という試練に見舞われました。

一方、米国はコロナ後に公共投資などにより経済に刺激を与えたのは良いですが、市中に資金がだぶつき異常な加熱に見舞われ、極端なインフレに副作用が出ました。

【日本に対する外国人投資家の姿勢】

日本株を円安時に仕込み、後で円高になるとドル換算で大きな差益を伴い売却できるという思惑があります。株高になっていることは日銀が67兆円もの株式を買い続けてきたことも原因の一つであり、欧米、中国の景気動向は芳しくないので投資に向かないと判断し、この資金を円安の日本に向けたのではないのでしょうか？

要するに日本の景気が決して良いという訳ではなく、資金が余ったから投資先を日本に向けただけなのです。

【円安】

では、何故に円安が続いているのでしょうか？

為替の変動原因は「需要」と「供給」のバランスです。これは間違いない事実ですが教科書には次のことが記されています。

以下、「三菱UFJモルガンスタンレー証券の外国為替の変動要因は？」という問いに次のように記載されています。

～外国為替の変動要因は？～

外国為替相場を決定する大きな要因は需要と供給のバランスです。外国為替に限らず欲しい人が多いと価格は上がり(通貨高に)、売りたい人が多いと価格は下がります(通貨安に)。

それでは中長期と短期に分けて外国為替の変動要因を見てみましょう。

【中長期的要因】

▼金利差

一般に金利が高くなった国の通貨は上昇、金利が低くなった国の通貨は下落する傾向があります。低金利通貨を売って高金利通貨を買い、より多くの収益を得たいと思う人が増えるからです。

▼貿易収支

一般に貿易収支が黒字になると通貨高になります。

例えば、日本から米国への輸出が増えるとモノをそれだけ米国に売ることになりますが、代金は米ドルで受け取ることが一般的です。受け取った米ドルを売って日本円を買う必要があるため円の需要が高くなり円高・米ドル安になります。逆に米国から日本への輸入が増えるとモノを米ドルで支払う際、日本円を売って米ドルを買う必要があるためドルの需要が高くなり円安・米ドル高になります。

▼物価変動

一般的にインフレになっている国の方が通貨安になる傾向があります。インフレとはモノの値段が上がり通貨の価値が下がることを意味するからです。

【短期的要因】

▼中央銀行の為替介入

中央銀行が外国為替市場で通貨売買を行うことを為替介入といいます。国は自国の通貨が安くなり過ぎることも高くなり過ぎることも避ける傾向にあり、大きな為替変動が起きた場合に為替介入によって為替相場を安定させることがあります。

▼政治的要因

各国政府要人の発言により、為替相場が大きく変動することがあります。

▼経済指標の発表

市場の予想と違う実績値の発表は大きな為替変動要因になることがあります。

▼地域紛争・戦争

紛争や戦争が経済に大きな影響を与えると懸念された時、為替相場の変動要因になることがあります。

外国為替相場の変動要因は1つだけとは限りません。また円高要因と円安要因が同時に存在する場合もあり断片的な見方では正しく判断できません。

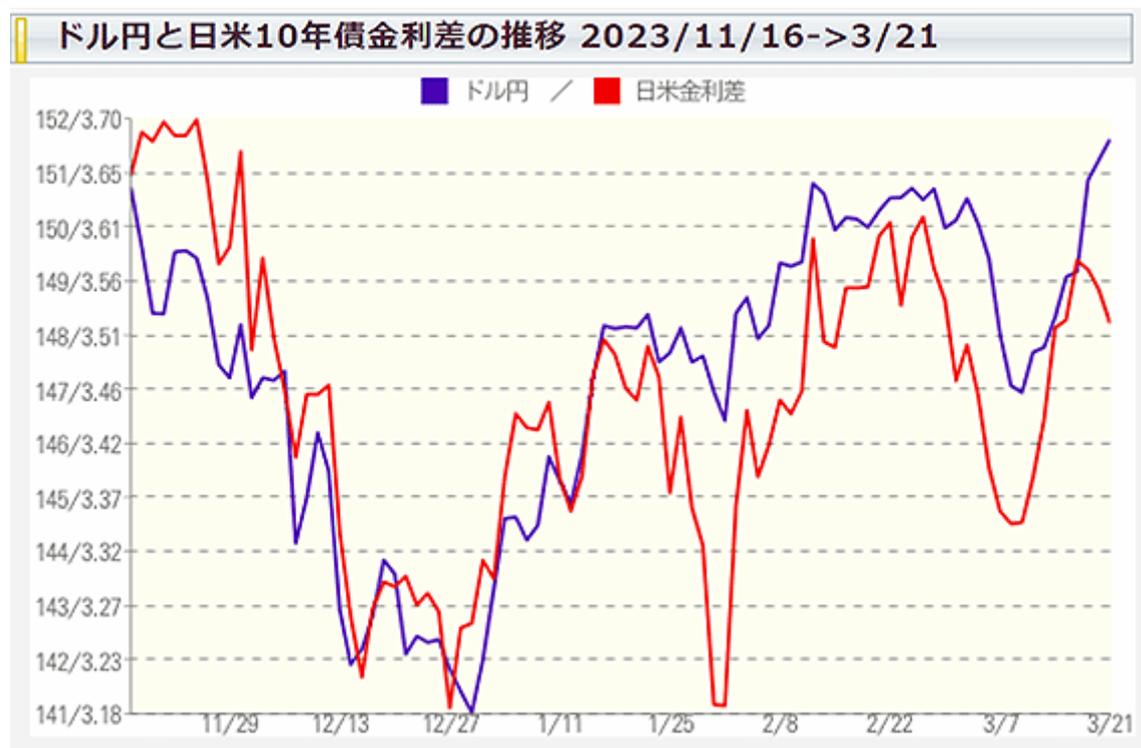
将来の為替相場を読むためには総合的な見方をすることが重要です。



これは3月22日現在のドル・円相場です。

3月11日に一時147円とこの月の最高値を付けました。ところが19日に日銀の植田総裁が記者会見を行い金融政策の正常化…即ち金利の引き上げを行い、これに伴い円高に振れると考えたのですが然にらず…筆者の読みが甘かったようです…その主な原因は金利差だと言われています。

【日米に金利差】



これを見ると日銀の発表を受けて以後円安が進む一方で、日米の金利差が少なくなってきました。ここからは日米金利差が円安をもたらしているとは考えにくいです。

では何故、円安に振れているのでしょうか…その原因は何か!?

【筆者の考え】

日銀のマイナス金利政策解除後に円安になった…筆者の予想は見事に外れました。その理由は日銀が追加の利上げを急がず、今後も金融緩和を続けていくという姿勢であるという市場での見方が広がったということです。それは日本経済全体の円のファンダメンタルズの悪化は深刻で、日銀が多少金利を引き上げた程度で以前のような円高トレンドに転換するのは無理があると市場関係者が述べています。そうすると何故、株が4万円を超えることになったのでしょうか…。

片方では経済のファンダメンタルズが悪いと言いながら、一方では超株高です。

筆者は次のように考えています。

- ①円安
- ②ドルでの投資家は日本株が買いやすい
- ③日本の一般個人投資家が株に投資するまで売らない
- ④円安を保つことが必要
- ⑤日本の個人投資家が株を買い出したら潮時を見て売ろう

個人投資家が株を買う…ファンドは利益を逃げる…日本からお金を持っていかれる…と最悪のパターンにならないように祈っています。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【二階元幹事長】

時期衆議院議員選挙には出ないと明言



2014年頃



2024年

3月25日、二階俊博衆議院議員(85歳)は自民党本部で記者会見し、次期衆院選で出馬しない意向を明らかにしました。

二階派(志師会)を含む派閥のパーティー券収入の不記載事件について謝罪したうえで「(二階派の)政治責任は全て監督責任者の私自身にあることは当然だ」と述べました。

二階衆議院議員は衆院議員秘書や県議2期を経て、1983年に衆院議員に初当選しました。その後新進党、保守党、保守新党、自民党などの党を変えながら13回連続当選を続けてきました。

また、紀伊半島一周の高速道路の整備には特に力を注いできました。

現在の役職は自由民主党国土強靱化推進本部本部長、2025年大阪・関西万博推進本部本部長です。

一方、派閥の政治資金パーティーを巡る裏金事件では、党が行った所属国会議員らを対象としたアンケート調査で、不記載などの金額が3,526万円と最も多く、幹事長在任中に党から政策活動費約50億円受け取ったとされたことでも批判を受けました。また政治倫理審査会にも出席せず、野党側からは参考人招致や処分を求める声が上がっています。

記者会見では次のようなやり取りがありました。

質問：不出馬はパーティー収入の不記載の責任を取ったのか、年齢の問題なのか…

二階氏：年齢の制限があるか！（質問した記者に対し）お前もその年が来るんだよ…（小声で）バカヤロウ…

まったく、その通りです(笑)

【筆者の考え】

二階氏は「重い決断」「覚悟の決断」「潔し」をされたのではないかと…何はともあれ国家、和歌山のために政治の力を使ったことに深くお礼を言いたいですね。

今回のパーティー券の不記載問題は二階氏1人の責任ではありません、派閥の長たる者が責任を取る…これが常識であり綺麗なものじゃないですか。記者会見では年齢が不出馬の理由なのかを聞かれ「年齢に制限があるか！お前もその年が来るんだよ」とすごみ、小声で「バカヤロウ」と吐き捨てる一幕がありました。長らく…少なくとも一生懸命に政治を行ってきた、誰だって一つずつ歳をとる、この記者は二階氏の言うように他人に対する配慮が無さ過ぎて馬鹿じゃないのか???

私自身も医者へ行って「加齢による〇〇ですね」と言われるのは嫌いですね。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【清和会】



問題となっている「清和会」の面々…誰も責任を取ろうとしません。安倍会長の死後は清話会会長代理に塩谷氏を座長とし、萩原光一氏ら5人衆を中心とした集団指導体制でした。実質的には森喜朗元首相が仕切っているという…。

同派の仕切り役とされる森氏は、2012年11月の衆院選に出馬せずに政界引退しましたが、その後も東京五輪組織委員会会長(途中辞任)を務めるなど中央政界への影響力を維持し、安倍派の事実上のオーナー(自民長老)と見られています。

森氏は岸田政権発足後に早い段階から岸田首相の政権運営での相談相手となり「党・内閣人事での安倍派の扱いはすべて俺が決めた」と公言してきました。ところが東京五輪での汚職問題を切り抜け、今回のパーティー券問題には亡くなった安倍元首相還流停止を提案し、停止したはずでしたが22年に再び還流(キックバック)が再開されました。この事情を5人衆や座長が知らないはずがありません、まして仕切り役の森氏元首相が知らないはずがありません!!

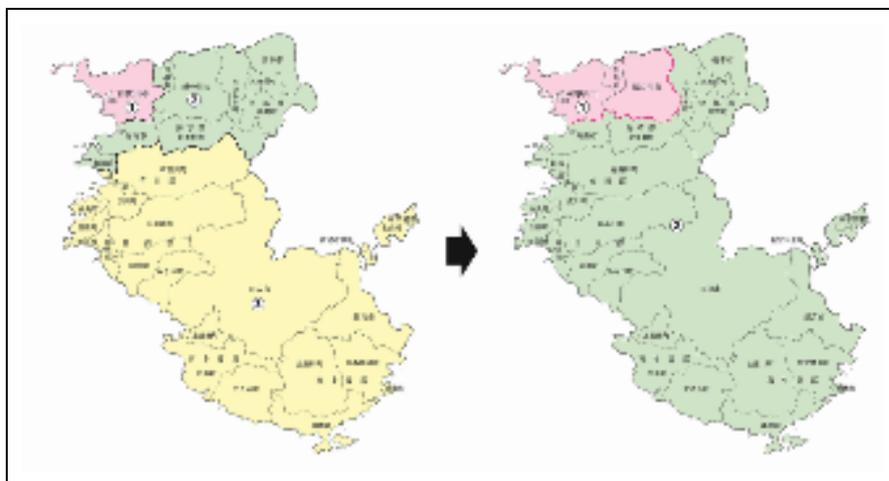
二階派(志師会)の会長である二階元幹事長は、侍で言えば切腹…大将自らが切腹し過ちを認めて謝る、古来に日本が常識としてきたことであり日本の美学なのです。それに比べて清話会は責任のなすり合いで情けない話です。

美学で終わりたいところですが、そうは言われてられない事情があるのです…。

和歌山県は次のような区割りになります。

二階氏は衆議院議員で地盤は有田以南です、この地盤を虎視眈々と狙いを定めている参議院議員の世耕弘成氏が…世耕氏は清話会5人衆の一人ですが、先にパーティー券問題で責任を問われており、本人によると「将来首相を目指す」と述べています。

参議院議員が首相になることは今までありません、首相を目指すためにも衆議院議員に鞍替えしたいというのが本音であり、新宮に住居を移し紀南で活動しています。



二階氏の後継者問題ですが、二階氏には息子が3人で以前から長男の俊樹、三男の伸康氏が後継者候補として挙げられています。



長男：俊樹氏は2016年の御坊市長選に出馬するも落選、地元支持者の評判もよくありません



次男：直哉氏はコロナ禍で緊急事態宣言が発令されていた際、銀座のクラブに通っていたことや、暴力団との黒い噂もあり後継者ではないと思われます。



三男：伸康氏はANAに勤務した経験があり、今は二階氏の公設秘書。人当たりもよく地元では「三男で決まり!!」という声が大勢を占めています。

おかしなことが1つありますが、次男と三男は最終卒業校(多分大学)が分かりません。

さて、2区での対抗馬は!?

和歌山県で出馬すると予想されている候補者は次の通りです。

▼和歌山1区(定員1)



維新の会現職衆議院議員
林 祐実氏 (42歳)



自民党参議院議員
鶴保庸介氏 (56歳)

▼比例近畿ブロック(定員 28)



石田真敏氏 (71 歳)



奥野信亮氏 (79 歳)

【筆者の結論】

岸田自民党総裁、パーティー券問題で関係議員にペナルティを課すと言っていますが、再起できないようなことはしないでしょう。考えてみれば一番怖いのは国民の審判であり、どんなペナルティよりシビアな現実です。岸田総理が何を言おうと関係なく、次の選挙では国民がしっかりした意識を持って、本当に日本を良くすることに力を注いでくれると思える者の応援をしましょう。

災害は忘れた頃にやってくる

筆者、3月25日に初めてのコロナ感染が判明しました。

朝から微熱があり頭痛がしたのですが会社へ出勤、間もなく鼻がグシュグシュしてだるくなってきました。風邪をひいたと思い掛かり付けの医のもとへ…コロナの検査をしても良いか聞かれて検査するも陽性反応がでました。

コロナ患者への特例支援であるコロナの治療薬の公費負担が3月末で終了するそうですが、筆者的にはコロナ禍はとっくに終わっており、マスクの着用も必要ないと勝手な考えを持っていましたが、体はだるいし家では隔離生活…3食の食事とおやつを部屋へ運んでもらい、食器は煮沸消毒、洗濯物はゴミ袋に入れ消毒してから洗濯、何度となく換気して私が触れたところは全て家人がアルコール消毒してまわります。

眼鏡が曇るし息もしづらく元々マスクは好きではありませんでしたが、マスクをしなかったせいで家族にも迷惑をかけましたし、バイ菌扱いされたようで辛い隔離生活でした。

幸い私は1日だけ微熱があっただけで済みましたが、軽傷か重症かは個人差があるのでうつさないように配慮して気をつけなければいけないと思いました。

災害は忘れた頃にやってくる…皆様も油断せず気をつけて下さいね。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

和歌山県立耐久高校 甲子園初出場



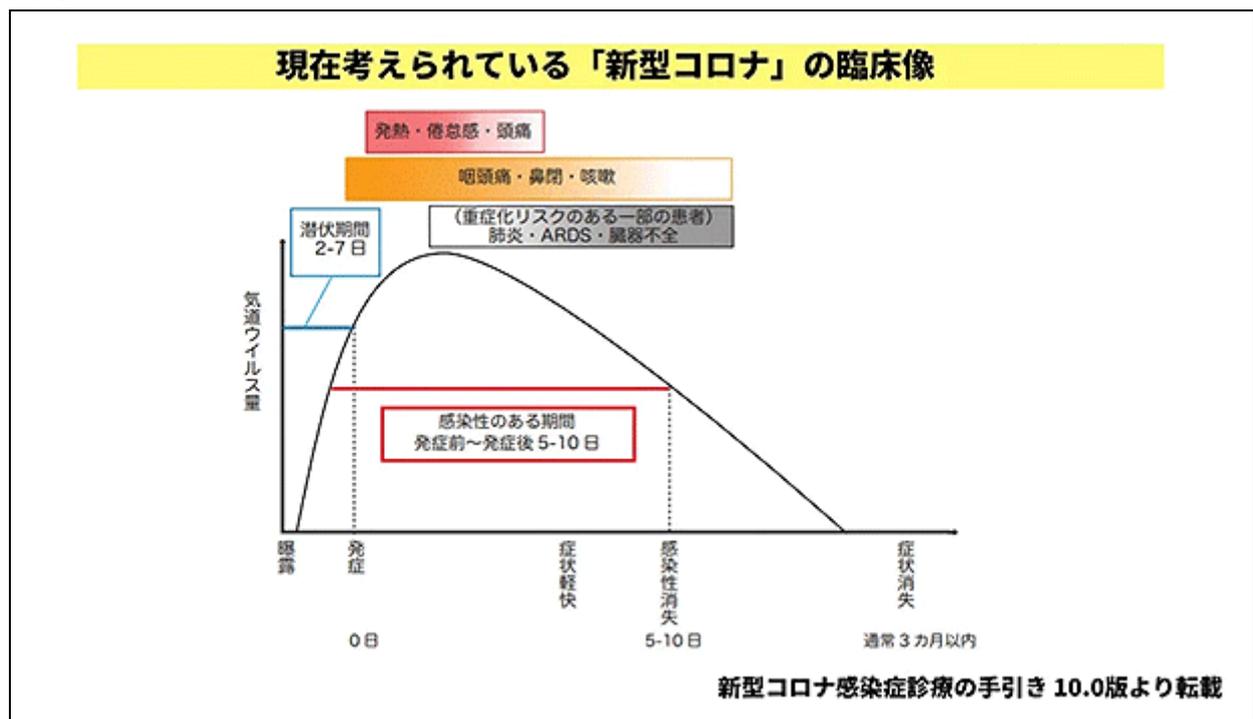
私の母校は和歌山県立耐久高校

「幕末創立・耐久高校！創部 119 年、初めての甲子園へ!!」…という事でまずはバンザイ!!

3月20日、耐久高校の1回戦の相手は千葉の中央学院高校、朝からバスに乗って甲子園まで応援に行きました。その日は低気圧の発達に伴い全国的に暴風で関西では風速10m以上ありました。風もさることながら雨も降り最悪の天候…耐久高校の負けがこむと風も強くなりみぞれ交じりの雨も降り始めました。帰りにバスまで歩く道はみぞれ雨で暴風が吹き寒いなの…コロナに感染したのはバスの中か応援席か…。

ちなみに22日に男性3人で食事に行ったので、その時かも知れませぬ。

新型コロナの潜伏期間は変異株によって違いますが、感染してから2日～4日で症状が出やすいそうです。



悪天候の中アクシデントもあり7-1という残念な結果でしたが、良い経験、良い思い出になったことでしょう。夏に再び甲子園の土を踏んでほしいですね!!

国では発症の翌日から5日間は外出を控えることが推奨されていますが、5類に移行したといえども重症化するケースもあり、また10日間は体内から排出されているので外出の際は他人に感染させないように必ずマスクを着用しなければいけません。

先にも書いた通り、私はマスクが嫌いで早々にマスクをやめました。私の傍にいた友人たちは皆マスクを着用しており感染していません。今思えばマスクをしていれば感染しなかつたらうな…と思います。やっぱりマスクは大事ですね!!

政府は4月1日からコロナは一般患者と同じ取扱いになると言っていますが、決して収束したものではありません。高熱が続く、咳が止まらない、味覚がない、だるさが長く続くなどなど重症化のケースも周囲で聞きます、また持病を持っている人には相変わらず危険なようです。

私も身をもって体験しましたので今後は注意しますが、皆さんも気をつけて下さいね。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp